

科 目	数学Ⅰ	学年・類型	1 年・商業科	単位数	2
教 科 書		改訂版 新数学Ⅰ（東京書籍）			
副 教 材 等		改訂版 ニューファースト 新数学Ⅰ（東京書籍）			
学 習 目 標	方程式と不等式、2 次関数及び図形と計量についての理解を深め、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				
学 習 心 得	1 数学Ⅰ(2 単位)を授業計画に従って実施する。 2 中学校の数学と比べて授業進度も速く、内容も深まっているので日々の予習・復習は欠かせない。 3 数学Ⅰは高校数学の基本となり、絶対に理解してほしい教科の一つである。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	文字と式 実数	・ 整式の整理や展開など整式の基本的な計算処理ができるようにする。 ・ 因数分解の公式を理解し目的に応じてそれを活用できるようにする。 【主な指導項目】 ・ 単項式,多項式の加法・減法・乗法 ・ 公式による因数分解 ・ いろいろな因数分解 ・ 自然数・整数・有理数・無理数を実数として体系的に理解するとともに、実数についての性質を理解させる。平方根を含む数の計算に習熟し、分母の有理化ができるようにする。 【主な指導事項】 ・ 平方根の計算			
二 学 期	方程式と不等式 2 次関数とグラフ 2 次関数の値の変化	・ 不等式の性質を考察させ、1 次不等式の解の意味や解くことの意味を理解し、不等式の性質を用いて、1 次不等式を解けるようにする。 ・ 因数分解を用いて、2 次方程式の解を求められるようにする。また、2 次方程式の解の公式を導き、これを用いて 2 次方程式を解くことができるようにする。 【主な指導事項】 ・ 不等式の性質 ・ 不等式の解き方 ・ 不等式の利用 ・ 2 次方程式の解の公式 ・ 2 次方程式の応用 ・ 身近な事象と関連付けて、関数についての基本的な概念を理解し、平行移動することにより 2 次関数のグラフがかけられるようにする。 【主な指導事項】 ・ 2 次関数のグラフ ・ 2 次関数のグラフを通して、関数の値の変化を考察し、2 次関数の最大値・最小値を求めるとともに、具体的な事象の考察に活用できるようにする。 【主な指導事項】 ・ 2 次関数の最大・最小			
三 学 期	鋭角の三角比	・ 一つの鋭角に対して定まる三角比という値を知り、サイン、コサイン、タンジェントを使うことができるようにする。また、それらの間に成り立つ関係を理解する。 【主な指導事項】 ・ 三角形、タンジェント、サイン、コサイン、三角比の相互関係			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・定期考査 ・ニューファースト新数学 ・小テスト
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察し、事象の本質や他の事象との関係を認識し、発展的に考察している。数学的な表現を用いて事象を的確に表現している。	・定期考査 ・ニューファースト新数学 ・学習プリント
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・授業態度 ・参加姿勢 ・授業ノート